

平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
五條市	五條市立北宇智小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

保護者を含めた地域の方々の参画・協働による「地域と共にある学校づくり」を通じて、地域住民が親交を深め、地域の学校である北宇智小学校への関心や愛着が高まり、地域の教育力が向上することを目指している。

また、児童と地域の方々とのつながりが深まる中で、社会性を身につけ、規範意識が向上すること、さらに、地域への興味や関心が高まり、郷土愛へとつながることを願っている。

2 取組の概要

環境整備支援活動

本校の校舎と運動場の間には大きな段差があり、その斜面は例年草を刈るだけで手一杯であった。運動会



定植



マリーゴールドと写真撮影

学習活動

昨年度、初めて夏の学習会を開催した。保護者にも児童にも好評で、今年度は「夏のがってんタイム」と名付けて日数とスタッフを増やし、それぞれの学年に分かれ、一人ひとりに合わせた学習を進めた。児童は落ち着いた雰囲気の中、わからないところを質問したり、友だちと相談をしたりしながら学習を進めていた。



土手定植準備

会の時には、土手をバックに写真を撮ろうと保護者や児童が思うような

斜面にしたいというボランティアの方の思いから活動を始めた。ボランティアと保護者、職員と一緒に土手を耕し、腐葉土や肥料を入れるところから始めた。全校児童もボランティアの支援を得ながら、千を超えるポットにマリーゴールドの種を植え、苗を育てた。4年生以上の児童で、ボランティアの支援を得ながら土手に苗を植えた。夏休み中も草引きや水やりを行ったが、夏の暑さに負け、株は期待したほど大きくならなかった。しかし、これまでになく色とりどりのマリーゴールドが咲いた土手は大変きれいで、運動会当日もみんなの目を楽しませてくれた。

夏のがってんタイム

